

椎の木



卒業前に…3年生 特別授業命の教育を行う

2月20日 3年生全学級で、命の大切さを学ぶ特別授業を行いました。卒業までクラスの仲間と共に生活できる時間はわずかとなりました。まだ受験真っ最中の時ですが、受験を大人になるためのひとつの試練を考えています。中学生の時期は大人への成長過程のために自立心が芽生え、反抗的な態度を取ることもあります。やがて、その反抗期を越え、大人に成長していきます。卒業を前に自分を産んでくれ、ここまで育ててくれた保護者に感謝し、次へのスタートを切ってほしいという願いから特別授業を実施しました。まだまだ緊張する時間が続きますが、生徒達がいい巣立ちが出来るように人としての成長を願い、全力を尽くして参ります。



命の教育 授業略案

1 君たちの命ははじめどのようであったか。

- うつぶせになり、目を閉じて想像する。
- ・妊娠12週エコー画像見てみよう。
- ・生まれた時を想像してみよう。
- ・生まれたばかりの赤ちゃんはどんな感じだろう。
- ・赤ちゃんの人形で体験をし、感じたことを発表しよう。

2 「その日の日記」を読み、感じたことを発表しよう。(右資料)

- ・生まれた命がいかに大切か考えよう。

3 君たちが生まれたとき、お母さんはどんな気持ちだったのだろう。

- ・保護者からの君たちへの手紙を読んでみよう。
- ・一人ひとりに書かれた手紙を読み、感じたことを書いてみよう。

「その日の日記」

あなたは今ここにいます。私のそばで、すやすや眠っています。つい何時間か前まで、あなたは私のお腹の中にいました。今、ここにいるなんてなんか不思議な気がします。

お腹の中のあなたに、何度も話しかけた声は聞こえてましたか。お腹が大きくなって、うれしくて話しかけた声。私がかぜをひいてしまった時、お腹のあなたが心配で話しかけた声。名前を考えてあなたに相談した声。少し痛いけれど「元気に育っている」と思って、うれしくなりました。お腹をさすりながら「早く会いたい」と何度も話しかけました。話しかけると、あなたがお腹を蹴り返したこともありました。覚えていますか…。

今日あなたが生まれました。あなたは私の目の前で「オギャー、オギャー」と大きな声で泣き始めました。その声を聞くと自然に涙が流れてきました。うれしいとは少し違う気持ちです。無事に生まれて本当に良かったと、ホッとした気持ちでいっぱいです。あなたは10ヶ月も私のお腹の中にいたのです。私の赤ちゃんです。

あなたが生まれたときの声、忘れません。

<授業の様子>

授業の中でお母さんのおなかの中の赤ちゃんの様子をエコーによる映像で見ました。生徒達はその動きに少し驚いている様子でした。羊水に包まれ、お母さんのおなかの中で、お母さんの声かけを聞いている様子、へその緒から養分や酸素を取り入れ、大きくなっていく様子、深い愛情につつまれ成長し、やがて出産となります。お誕生日は赤ちゃんが生まれてきたお祝いと、お母さんが命をかけて無事赤ちゃんを産んでくれたお祝いでもあります。生徒達は赤ちゃんの人形を抱いて、その重さを肌で感じ、命の尊さを感じました。授業の最後にお母さんからの手紙を読み、照れながらも愛情を注いで育ててくれたことを感謝している様子でした。なかには涙する生徒もいました。その姿を見て、生徒達も着実に成長してきてくれたことをありがたく思いました。卒業を前に、心地よい時間を過ごすことができました。

平間 陸斗さん…手紙を読んで、自分がどういう感じで生まれてきたのか、また、どんな道を歩んできたのか、改めてわかってよな気がします。自分のために多くの人が関わってくれた大人への感謝の気持ちを忘れずということを確認しました。手紙には自分に対しての想いがすごく書いてあって、生まれた時のお母さんの気持ちが伝わってきました。「いのち」とはすばらしいものだと思います。これからは自分のいのちを大切にしていって過ごしていきたいと思っています。

田中 莉乃さん…母からの手紙を読んで、私を産んだときの大変さがすごく伝わってきました。家族に愛されて育ってきたんだと実感しました。子供を産むというのは、とても大変なことだとわかってはいたけれど、本当にはわかっていなくて、表面的な意味で「わかった」と思っていただけだと思います。人間、一人ひとりがいろいろな人のたくさんの想いがあって生きているんだと思いました。生きることは簡単ではないけれど、いろいろな人の想いを背負って成長していくんだと思うと言葉に出来ない感情がわいてきました。ここまで命について考えたことがなかったので、この授業を通して考えることができよかったです。

3年生に学ぶ会の実施

卒業を前にして、1、2年生が3年生から学ぶ会を計画しました。受験を経験した3年生から勉強の仕方や受験に臨む姿勢と準備の仕方、そして3年生としての日々の生活の過ごし方など、先輩から多くのことを学びました。

3年 中山 凛香さん…3年生はもう少しで卒業です。しかし私たちはまだたくさんの課題ややるべきことが残っているので、すべて全力で取り組み、改善を図ります。3年生に学ぶ会で後輩の皆さんは集中して話を聞いてくれました。2年生にも後悔のない3年間を送り、卒業して行ってほしいと思います。苦しくなった時に、3年生がこんなことを言っていたなど思いだしてくれると嬉しいなと思いました。

2年 八重樫 葵さん…受験について先生方から話を聞くことはあっても、先輩方から進路を決めるまでの過程を聞けたり、アドバイスをもらう機会はなく、貴重な体験でした。3人の先輩方が受験までにやってよかったことや、反対にもっとこうすべきだったこと、また家庭学習について話を聞くことができ、とてもためになりました。今回学んだことをこれからの受験までの生活に生かし、また、受験に対する意識をより高く持っていけるようにしたいと思います。

【3年保護者の方へのお願い】

発展途上国への支援として鍵盤ハーモニカ・アルトリコーダーの寄付をお願いします。別紙にてご案内を送付します。また、制服やジャージ、バッグ等の寄付および英語検定・漢字検定・数学検定等のテキストを寄付していただくと幸いです。追ってご連絡します。

【お願いします】

保護者の方で、生徒を車で送り迎えをする方が近隣の駐車場に入られて、契約者の方が困っているとの連絡がありました。ご注意の程お願いします。